



【SSH 特別講義】磯で学ぶ

7月15日(木)に中高生を対象としてSSH特別講義「磯で学ぶ」を実施しました。和歌山県立自然博物館の平嶋健太郎学芸課長さんを講師に迎え、実際に加太の磯に出かけ、磯に生息する生物を捕獲、観察しました。クモヒトデやイトマキヒトデ、アゴハゼ、クサフグ、ウメボシイソギンチャク、ウミナメクジ、クロコショウダイの幼魚等、他種多少な生物を観察することができ、それぞれについて単に観察するだけでなく、平嶋学芸課長さんから、名称の由来や、なぜこのような模様をしているのか等の解説を聞かせていただきました。

「磯で学ぶ」を終えて、生徒たちは次のような感想を述べています。

「海で生物を採集するのも初めてだったので、少し抵抗はありましたが、海に触れていくことでどんどん興味が湧いてきました。平嶋先生の解説が分かりやすく、自由研究に使おうと思いました。私は今回ヒトデに興味を持ったので、また、たくさんのヒトデや生物を探していきたいと思います。」

「生物が好きでよく川に行っているのですが、自分の採った魚の名前を調べていませんでした。けれど今回、生物の名前だけでなくその特徴も教えていただいて、これからは、自分で採った魚を調べようと思います。」

